

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年 2月 19日

事業所名：子ども発達支援ぽっぽ白鳩

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	8	1	0	・適切にスペースが満たされている。	45	1	0	2	・小3で体も大きくこれから大きなスペースは必要です。	・適切にスペースがあるので、利用方法等工夫をする。
	2 職員の適切な配置	8	1	0	・配置基準は満たしているので、子供の特性に対応できることを、職員同士で工夫している。	34	7	0	7	・過ごし方を見たことがない為、親にはわからないが、子どもは満足そうである。(参観日などがなかったため) ・日々の活動を全て見ているわけではないので本当のところはわかりません。	・子供の特性などを考慮し、職員全員で話し合っ、最善の配置を実施するよう努力している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	6	3	0	・設備・整備は満たされている。	37	5	0	6	・教室の中で工夫しているところを見て、家庭でも活かしていきたい。	・引き続き、一人一人に寄り添った対応を目標としている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9	0	0	・充実した生活空間の確保はできている。	47	5	0	6	・いつもきれいです。	・清潔を基本に、居心地のよい空間を保つよう配慮して行くことを心がけていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5	4	0	・PDCAサイクルを励行している。	/	/	/	/	/	・職員内の連携を密にして、更に向上を目指す。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	6	3	第三者評価を受けていないので、今後評価を受け、業務の内容改善の実施をする予定である。	/	/	/	/	/	・アンケート内容を検討し実施する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	1	0	・外部研修会などに積極的に参加し、支援につなげている。	/	/	/	/	/	・定期的に研修会に参加し、更なる職員のスキルアップを図る。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	9	0	0	相談支援や現場の職員(児発管・主任等)で、発達や成長等についてひとりひとりの発達を理解し、計画作成している。	43	4	0	1	・伝えることが難しい。 ・子どもの成長によって必要なものも変化してくるので正解はないのですが、親も子供もきちんと分析できていないのでわかりません。	・担当者会議等でニーズや課題を適格に捉える。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	2	0	・支援に必要な項目の設定等具体的に記載し、毎日提供している。	43	3	0	2		・利用者の具体的な支援項目設定と内容を明確にする。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	9	0	0	・降所後、計画・支援内容を具体的に作成して実施している。	/	/	/	/	/	・週案等の立案を継続して行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8	1	0	・個々について、特性を把握する工夫をしている。	41	4	0	3	・連絡・報告・相談を徹底し、反省・改善点等を元に、計画の内容を大切に支援の実施をする。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	2	0	・児童の特性等中心に、活動プログラムを職員で立てる。	/	/	/	/	・障がい特有の精神発達表を使い、各目標達成に向けて、内容を各職員で話し合い実施する。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	8	0	1	・季節に応じ、活動内容について考慮し、年齢に応じて固定化をしない工夫をしていく。	39	3	0	6	・固定化の無い様にプログラム作成・実施。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	5	0	・長期休み中の支援や、クラス(年齢)毎で工夫して支援する。	/	/	/	/	・子どもにとって、より良い環境・支援を目指す。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	9	0	0	・毎朝礼で支援内容・役割分担・活動指導上の留意点等、職員ミーティングを行っている。	/	/	/	/	・毎朝のミーティングで前日の反省も踏まえ、支援内容・役割分担を確認する。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	7	1	1	・毎日のミーティングで共有。	/	/	/	/	・その日に職員が声を掛けあい、振り返れる時間を作り、評価を踏まえた情報の共有化を実施してより良い支援を心がける。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	9	0	0	・日誌記録等、児発管が検証し、改善の継続実施を行っている。	/	/	/	/	・現場・サブリーダー・リーダーの手順でチェックを行い、漏れの無い様確認する。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9	0	0	・定期的な職員会議を実施し、具体的な計画の見直しをしている。	/	/	/	/	・専門相談員も入り、継続してモニタリングの実施、計画等確立する。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8	1	0	・児発管や各子供に精通した職員が同席し、サービス担当者会議に参加している。	/	/	/	/	・児発管及び子供に精通した職員も同席し、サービス担当者会議を行う。
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/		/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	6	0	・定期的な情報共有・改善をするため、担当者会議・保育所等訪問支援(小学校・幼稚園)を関係機関と連携をとっている。					・各機関と引き続き、子どもの様子も含め情報共有を行う。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5	4	0	・一部児童は連携会議がもてている。					・各事業所と、情報共有や連携を持って対応する計画を立てる。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	4	0	・専門機関での研修・講習に積極的に参加促進を実施予定。					・各職員が、専門機関での研修を積極的に参加できる職員配置を考える。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	8	1	0	・保育園交流(運動会・祭り)や公共施設、市営体育館の利用をしている。 ・児童館や保育園に定期的に交流もっている。	36	3	2	7	・交流の機会を増やし、いろいろな体験ができるような環境づくりをする。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	5	3	・秋祭り等をしている。 ・児童館や保育園以外との地域交流を行いたい。					・老人会や地域との交流も積極的に働きかけ、秋祭りなどにも積極的に招待し交流する。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	2	0	・利用者のその都度説明をしている。	43	4	0	1	・わかりやすい丁寧な説明を心がける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	9	0	0	・利用者のその都度説明をしている。	40	7	0	1	・いつも丁寧な説明をありがとうございます。 ・具体的な支援内容を提示し、より理解いただける説明を早めの連絡等を徹底するよう、心がける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	8	1	0	・ペアレントトレーニングの会を定期的に行っている。 ・保護者会を行っている。	33	4	0	11	・保護者が学べる機会を提供する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	1	0	・登所日には必ず連絡ノートで生活・体験・療育・健康など、共通理解を徹底している。 ・送迎時に様子を伝えたり、家庭での様子を聞いている。	43	5	0	0	・子どもの好きな事、できるようになった事、得意な事を教えてもらえて嬉しい。	・連絡ノート以外でも、保護者との連携の機会を増やし、信頼を深める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	9	0	0	・送迎時等に話し合っている。	35	9	1	3	・ちょっとした困り事への対応例をたくさん知りたい。	・保護者からの声に更に耳を傾け、相談員および児発管が専門的な対応をする。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	8	0	1	・年間計画にペアトレーニングあり、保護者同士の連携支援をしている。 ・改善点として、参観・父母会の結成予定である。	18	9	3	18		・ペアレントトレーニングの機会に保護者同士の交流できる橋渡しをする。また障がいに対する専門員を招き、講演や相談する機会を設ける。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	9	0	0		27	5	1	15		・子ども、保護者からの声を真摯に受け止め、要望などがあれば迅速かつ丁寧な対応をする。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8	1	0	・掲示板にて伝達している。	43	1	1	3	・ノートをいつも楽しみに読ませていただいています。活動の様子がよくわかります。	・子どもや保護者と丁寧に関わっていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	9	0	0	・毎日の連絡ノートにて連絡したり、ぽっぽ白鳩お便りにて伝達している。	35	4	1	8		・紙媒体での周知に加え、送迎時や電話などで直接情報を伝える。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	9	0	0	・個人のファイル等は、室内庫にて施錠の元管理している。	41	2	0	5		・今後も取り扱いに注意する。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6	3	0	・早急に、連絡網（電話）・緊急時対応マニュアルを作成し、周知徹底のため、細かく説明する。	28	4	2	14	・そこまで細かい所（子供の引き渡しをどうするかなど）は聞いておらず、不安です。	・非常時の対応について、保護者が安心できるような案内をしておく。（お便りなど）
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7	2	0	・定期的に避難訓練等を実施している。	28	4	0	16		・引き続き、定期的に行い、様子などを掲示板などで保護者に伝える。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見
非常時等の対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7	2	0	・研修会に参加し全職員に伝え、ミーティングの中でも話し合っている。 ・年に数回実施している。							・虐待についての正しい認識を深め、定期的な話し合いを継続する、
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	2	3								・やむを得ず身体拘束を行う場合、保護者に対して事前に十分の説明・了解を得たうえで支援計画に(児童・放デイ)記載しておく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	9	0	0								・保護者からの聞き取りだけでなく、医師の診断書もお預かりする。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8	1	0	・ヒヤリハットの記載し、職員会議で共有、対策の話し合いをしている。							・記載の内容を詳細にわかりやすくする。